

戦略企画会議から

Progress Report from the Strategic Planning Committee

戦略
企画
会議

第五期戦略企画会議第四委員会「政策提言活動と啓発活動」の活動報告

第五期戦略企画会議第四委員会 「政策提言活動と啓発活動」の活動報告

戦略企画会議第四委員会の使命は、政策提言活動や啓発活動を通して、国民、行政および医療界における、眼科医療および眼科学のプレゼンスを向上させること、それをもって視覚に関する健康・医療・福祉に貢献することです。長期的に、以下の目標を掲げています。

- 1) 国の健康医療戦略へ感覚器(視覚)に関する政策を盛り込み、感覚器疾患対策基本法の成立、感覚器(視覚)大型研究事業の立案、診療報酬の改善などにつなげる。
- 2) 迅速かつ適切な広報活動のための組織体制を整備し、メディアの有効活用により、視覚情報とこれを与える眼科学の重要性を国民に対して啓発する。
- 3) 行政から適正な評価を得て、診療報酬の改善を図る。
- 4) 意欲ある医学生や研修医を積極的に確保し、優秀な眼科医の増加を図る。

戦略企画会議第四委員会は、日本眼科医会、眼科関連団体とともに日本眼科啓発会議(以下、啓発会議)を構成し、さまざまな計画を立案、実行しています。具体的には、啓発会議は3つの分科会、すなわち第一分科会：広報事業、第二分科会：政策提言事業、第三分科会：学生・研修医啓発事業を設置しており、第四委員会メンバーは各分科会の委員として事業活動に参加しています。

本稿では第四委員会の最近の活動について報告します。

1. 本委員会の構成

委員長：外園千恵(常務理事)
副委員長：瓶井資弘(理事)、杉山和久(理事)
委員：門之園一明(横浜市大)、
辻川明孝(京都大)、村田敏規(信州大)、
野中隆久(日本眼科医会)、
平塚義宗(日本眼科医会)

2. 広報事業

1) メディアを介する啓発活動

国民に広く、眼科医療および眼科学の重要性を啓発することを目的に、日本眼科学会と日本眼科医会が共同で日本眼科広報委員会を設置しています。視覚障害の予防、早期発見を促すためにも、政策提言をしていくためにも、視覚情報の重要性を広く国民と行政に対してアピールしていく必要があります。昨年度は、下記の記者懇談会を行いました。

【第24回日本眼科記者懇談会】

会期：2023年5月18日(木) 18:30~20:00

会場：日本プレスセンター10階ホール(ハイブリッド開催)

テーマ：6月10日は『こどもの目の日』

講演1：「日本眼科学会・日本眼科医会の「こどもの目を守る医療活動」：「こどもの目の日」制定」
白根雅子(日本眼科医会会長)

講演2：「こどものWell-Beingと目の健康～こども家庭庁の施策を中心に～」

自見はなこ(参議院議員・医師)

講演3：「小児の目の健康をまもるために」
佐藤美保(浜松医科大学眼科教授)

講演4：「ICT教育と目の健康啓発活動」
丸山耕一(日本眼科医会理事)

【第25回日本眼科記者懇談会】

会期：2023年9月14日(木) 18:30~20:00

会場：日本プレスセンター9階会見場(ハイブリッド開催)

テーマ：40歳を過ぎたら、眼底検査を！

講演1：「40歳過ぎたら眼底検査を：視力だけでは目の健康はわかりません」

加藤圭一(日本眼科医会常任理事)

講演2：「眼底検査はなぜ大切か～視力検査と眼底検査～」

白根雅子(日本眼科医会会長)

講演3：「緑内障の発見は眼底検査から」
杉山和久(金沢大学眼科教授)

講演4：「眼底検査でわかる網膜疾患：①黄斑疾患、

② 網膜血管性疾患

辻川明孝(京都大学眼科教授)

【第 26 回日本眼科記者懇談会】

会 期：2024 年 1 月 23 日(火) 18:30~20:00

会 場：日本プレスセンター 9 階会見場(ハイブリッド開催)

テーマ：こんなにあるんだ「目の検査」

講演 1:「こんなにあるんだ「目の検査」」

加藤圭一(日本眼科医会常任理事)

講演 2:「目の検査：① 視力・屈折検査, ② 眼圧検査, ③ 視野検査」

松本長太(近畿大学眼科教授)

講演 3:「目の検査：④ 細隙灯顕微鏡, ⑤ 眼底検査」

中尾新太郎(順天堂大学眼科教授)

2) アイフレイルの広報・啓発活動

「アイフレイル」をキーワードとして視覚情報の重要性を国民や行政に対して啓発し, 視覚障害により日常生活が制限される人, 自立機能の低下により要介護状態に至る人, および人生の楽しみや快適な日常生活が制限される人を減らすことを目指しています。

昨年は, アイフレイルガイドブック(2023 年度版)を刊行しました。また, 日本眼科医会の会誌『日本の眼科』第 94 巻 11 号(2023)の特集【アイフレイルアドバイスドクター・アップデート】にあわせ, ガイドブックを同封し眼科医への啓発を進めました。

アイフレイル啓発公式サイト(<https://www.eyefrail.jp/>) (図 1)では最新のアイフレイルガイド(図 2)がダウンロードできるほか, アイフレイルアドバイスドクターの登録など, 有用な情報が満載です。是非, ご覧ください。

3) 学会シンポジウム

啓発会議からの申請により, 昨年に 6 月 10 日が「こどもの目の日」に制定されました。日本臨床眼科学会, 日本眼科学会総会において, 「こどもの目を守る」というタイトルで下記のシンポジウムを開催しました。

【第 77 回日本臨床眼科学会 シンポジウム 9】

会 期：2023 年 10 月 7 日(土)

会 場：東京国際フォーラム ホール C(ハイブリッド開催)

テーマ：子どもの目を守る

オーガナイザー：白根雅子(しらね眼科),
杉山和久(金沢大学)

講演 1:「母子保健の最近の動向」

木庭 愛(子ども家庭庁成育局母子保健課)

講演 2:「小児の弱視から目を守る」

佐藤美保(浜松医科大学)

講演 3:「小児の近視をどのように管理・治療すべき

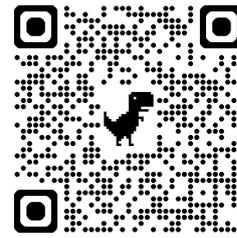


図 1 アイフレイル啓発公式サイトの QR コード。



図 2 アイフレイルガイドの表紙。

か」

大野京子(東京医科歯科大学)

講演 4:「子どもの目を守る日本眼科医会の取り組み」

柏井真理子(柏井眼科病院)

【第 128 回日本眼科学会総会 シンポジウム 21】

会 期：2024 年 4 月 21 日(日)

会 場：東京国際フォーラム ホール B7(1)(ハイブリッド開催)

テーマ：子どもの目を守る—第 2 弾—

オーガナイザー：白根雅子(しらね眼科),
杉山和久(金沢大学)

講演 1:「こどもの目を守る政策」

自見はなこ(参議院議員・医師)

講演 2:「乳幼児健診における視力の診かた」

小枝達也(国立成育医療研究センター)

講演 3:「眼科乳幼児健診の現状と課題」

仁科幸子(国立成育医療研究センター)

3. 学生・研修医啓発事業

初期研修医・医学生に眼科の重要性や先進性を啓発することを目的に、2012年から2019年まで「眼科サマーキャンプ」(途中から春季開催の眼科スプリングキャンプ)を開催し、2021年からはオンラインで、眼科の魅力伝えるセミナーを実施しています。

昨年は下記のWEBセミナーを開催しました。

【眼科ONLINE SESSION for NEXT GENERATION 2023】

目的：未来の眼科ドクターに向けた眼科の魅力啓発

対象：初期研修医(1・2年目)，医学部学生(5・6年生)，合計200名(先着順)

実施方式：Zoom ウェビナー/YouTube Live によるオンライン

会期：2023年7月15日(土)14:00~16:00 [Zoomによるライブ配信]

2023年7月15日(土)18:00~20:00 [YouTube Liveによる再配信]

2023年7月22日(土)20:00~22:00 [YouTube Liveによる再々配信]

参加費：無料

申し込み者：222名(医学部5年生27名，6年生66名，初期研修医1年目48名，2年目81名)

今年度は6月22日に眼科ONLINE SESSION for NEXT GENERATION 2024を配信しました(図3)。

おわりに

本委員会が担っている「政策提言活動と啓発活動」は、国の動向を見据えながら中長期スパンで設計し、目標の実現に向けて事業を展開していく必要があります。



図3 眼科ONLINE SESSION for NEXT GENERATION 2024のポスター。

「政策提言活動や啓発活動を通して、国民、行政および医療界における、眼科医療および眼科学のプレゼンスを向上させ、それをもって視覚に関する健康・医療・福祉に貢献する」という本委員会の使命を達成するため、引き続き日本眼科学会会員の皆様、日本眼科医会と眼科関連団体からのご協力とご指導のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。